

いくぞう

通信

議会レポート

No.21号

2019年6月議会報告

後援会事務所 栃木市岩舟町古江 792
TEL・fax 0282-55-8776
携帯 090-9010-7042
Eメール i-hary@cc9.ne.jp

あなたの相談相手、
気軽にお電話ください。
栃木市議会議員 針谷育造

6月7日から26日までの20日間、6月議会が開かれ、2019年度一般会計、特別会計補正予算、条例制定12、工事請負1、高規格救急車（大平分署）消防ポンプ自動車契約2台（岩舟・都賀消防団配備）農業委員25名の同意、介護職員処遇改善4万円を引き上げる

助成制度の陳情を採択、読書の日の請願は不採択で閉会した。詳しくはホームページ等ご覧ください。



農業委員会で『高橋かつのり』参議院自民党候補の

後援会加入の便宜…政治的行為に関与か？

給食無料化違法文書に続いての不祥事？

やってはいけないことが再び…どうなっているの？

政治的行為に市職員関与か（下野新聞）の報道が6月21日流れた。議員間ではその事実を18日農地利用推進員のS氏から知らされていた。またしても不祥事である。公務員は全体の奉仕者であり公共の利益のために専念し、政治的行為は禁止されている。勤務時間内で行われたとすれば問題である。農業委員会会長、市長の管理責任が厳しく問われなければならない。市長は、給食費無料化

の違法事務処理を反省し、『風通しの良い職場で、ものが言える関係を職員と作る』と答弁したばかりである。

部下は家来ではない上司の命令、指示をなぜ疑わないのか、プロなら判りそうなものである。職員は言われたことだけをやればよい、などと思っていたら大間違いです。市民の信頼こそが行政のすべてである。それは職員の倫理観にかかっている。それにしても残念である。

緊急質問

26日最終日、真相を解明するため針谷育造、白石幹男、内海まさかず氏の3名が質問した。

(1)事実関係の確認(2)公職選挙法抵触の確認(3)地方公務員法抵触の確認(4)責任の所在(5)今後の対応(針谷質問)を緊急に質問した。

針谷「教育委員化の給食問題に続き農

業委員会の不祥事である」

今後の対応について

部長「農地利用最適化推進委員会でその説明と謝罪をしていきたい。誠に申し訳ありませんでした」

針谷「再発防止と任命権者としての市長の責任は」

今後このようなことが起きないように指導します。……市長

これで落着ではない。農業委員会会長こそ自らその責めを負わなければならない。職員に違法な仕事を、やらなければ

自立しなさい

きちんと自分の意見を言うこと。職場の仲間との信頼を作ること。職場で何でも言える関係を作ること。自分自身が自立すること。明るい職場を作る自覚を持

ならないように仕向けた会長の責任は重い。むしろ職員は犠牲者である。

つこと。職場の個人の悩みをみんなで考えること。…これらをやることが市民に信頼してもらうための第一歩です。

一般質問

1、会計年度任用職員制度について

栃木市役所には正規職員(消防職員を含んで)1335人(64%)、臨時的職員745人(36%)合計2080人が働いている。3人

に1人の割合で臨時的職員がいる。この人たちの待遇改善が働き改革で進められている。

- ①本来の仕事は、正規職員でやるのが原則
- ②臨時的職員がいなければ、職場で仕事は回らない
- ③職場の主人公は、臨時職員を含めた全部の職員
- ④職員人件費は、公務サービスの事業費



……以上が市長答弁でした。市長も判っているようです。今後どうするのが問われます。

誰もが安心して働くためには臨時職員の改善が必要です。

2020年の4月には会計年度任用職員制度が始まる。今まで不安定な状況で「ハラハラしながら来年も働けるのか、同じ仕事でなぜ差別があるのか」等の不安を解消する為の一歩です。今回の改正は『同一労働・同一賃金』実現のスタートです。

2、学校給食無料化について



「議決前に出来ない」の声は無かったのか？

違法文書がなぜ、学校へ出されたのか？

なぜ？ 初歩的なミスが止められないのか？

3月議会で無料化が認められなかったのは、財源の確保が出来なかったことが、否決の理由でした。しかし規則改正、予算議決前に学校へ給食費の減額通知が出された。保護者からの通報で法律違反の文書に批判が集まった。なぜそんなことが行われたのか。誰の命令で文書配布になったのか。やってはいけないことの自覚はないのかなどの意見が駆け巡った。
針谷「根拠法令の改正、予算議決がないのに、なぜ学校に通知したのか」
部長「4月分の口座振替手続きをスムーズに進める為にやってしまった。しかし4月でも事務手続きは間に合ったことであり、議決前に実施したことは配慮が足りなかった。」

針谷「責任者として教育長の反省を聞かせて欲しい」

教育長「深くお詫びし、文書発送にストップをかけなければいけなかった。今後は議決の重要性を認識し、心して仕事を進めます。申し訳ありませんでした」

針谷「市長としての反省と今後の行政執行は」

市長「申し訳ない結果になり反省している。今後は風通しの良い職場を作り、ものが言える職員との関係を作ります。申し訳ありませんでした」

針谷「市長として来年度学校給食無料化に再挑戦するのか」

市長「プロジェクトチームで財政面の改革を検討し、丁寧な説明の中で来年度予算に計上したい」

「見てみぬふり」をする……これはやめよう！

針谷「教育長、市長もその責任を認めたとする。今後はこれを糧として職務に当たって欲しい。市長を先頭に市民の信頼を回復しなければならない。」

結局、「ことなかれ主義、言われたことに黙って従えば良い」そんな雰囲気職場になっているのではないか。職場が命令と服従になってないか？市役所職員が言われたことだけをやれば楽など考えるの

は間違いです。上司も責任を全うし市民の信頼を取り戻して欲しい。上は安倍総理大臣から官僚、自治体職場まで忖度、改ざんが許されることではない。仕事では、正しい手続きを踏むことが大事です。「見てみぬふり」を止め、毅然として仕事をすれば気持ちも良いものです。常に自分を見つめて、反省する姿勢が大事です。

3. 栃木シティフットボールクラブ専用スタジアムの整備について

岩舟運動公園多目的グラウンドの市有地

- ・無償貸し付けに疑問??
- ・市有地なら有料が常識ではないか
- ・民間会社へ無料貸し付けの根拠はない



針谷「スポーツを通じた地域づくりを目指し5月30日、サッカークラブの「栃木シティユナイテッド」と連携協定を結んだ。市民は歓迎と同時に市有地の無償貸し付けに驚いている。貴重な財産をスポーツまちづくりへの寄与が理由だけで無料は通らない。有料にすべきである」

部長「無償貸し付けを考えているが、決定したわけではないので、有料も検討したい」

針谷「当然である。貴重な市民の財産が無料貸付では納得できない。有料でやるのが市民の利益を守ることになる。それも行政の役目でないのか？」

(株)ユナイテッドは 岩舟町静に本社・社長・大栗崇司 資本金 3000 万円、
売上 1 億 7100 万円 当期損出 7100 万円 関東リーグ一部

メリットは何か・・・ プロ野のサッカー試合が身近で観戦できる。トレーニング・健康づくりなどプロのコーチの指導が受けられる。プロの選手と交流が身近にできる。試合当日には観戦者が訪れ地域がにぎわい、経済振興と知名度アップになる。フードモールが隣接されるのでいつでも

飲食できる。地域イベントなどが開催できる。

デメリットは・・・試合当日など近隣道路の渋滞、観戦の声援がうるさい。陸上トラック、野球場がなくなり利用できない。などがあげられる。地元との合意がまず優先されなければならない

整備計画はどうなっているのか？

岩舟運動公園を第一候補として考えている。おおむね地元の了解は得られている。

小野寺北小学校が来年統合になり、跡地を「サッカー専門学校」の話も聞く。校舎一部を「円仁歴史資料館」との声もあり、地域の皆さんと話し合いで決めて欲しい要望をする。